

令和6年第4回（9月）定例会 一般質問通告表

順	質 問 事 項	質 問 者
1	<p>1 世界遺産登録後の取組について</p> <p>(1) 登録後の観光客の入込状況と動向について (2) 登録後の保存対策はどのように考えているか (3) 観光客の受入体制と誘客対策について</p> <p>2 地域要望制度等による各地区からの要望数とここ数年の対応状況について</p> <p>(1) 市道、農道、林道の改良・修繕、側溝清掃・修繕等について (2) 河川、用水路の改修、護岸修繕等について (3) 街路灯、カーブミラー等の新設、修繕等について (4) 原材料支給の状況について (5) 海岸漂着ごみ対策について (6) 避難道等に対する防災対策について (7) 集会施設等の修繕について</p>	坂 下 善 英
2	<p>1 「佐渡島の金山」世界文化遺産登録について</p> <p>(1) 「保存」「継承」「活用」における、国、県、市の連携体制の充実を図るべき (2) 市は「佐渡島の金山」課として、集中的に取り組むべき (3) 韓国と文化、平和交流を進めるべき</p> <p>2 佐渡汽船の老朽化船舶の更新について</p> <p>(1) 7月24日東海汽船のジェットフォイル事故を受けて、佐渡汽船から安全点検等の報告はあったか (2) 今後の船舶更新の計画について、どのような説明、報告、協議がなされているか (3) 市として、どのような対応を考えているか</p> <p>3 水道管の耐震化について</p> <p>(1) 能登半島地震の教訓を生かし、断水対策として耐震管への布設替えを進めるべき (2) 净水施設や配水池も含めた耐震化の促進をすべき</p> <p>4 不登校支援について</p> <p>誰もが学習できる環境づくりのため、メタバースの活用を進めるべき</p>	山 田 伸 之
3	<p>◎ 佐渡ヶ島（SDGs）集落ツーリズム構想の実現に向けて</p> <p>【しごとづくり】【ひとづくり】【まちづくり】の計画に関する確認と提案</p> <p>(1) 「佐渡島（さど）の金山」の世界文化遺産登録を好機とした観光振興について</p> <p>① 世界文化遺産登録された7月27日を記念日とする県条例の制定に向けて ② 持続可能な文化観光地域づくりへとつなげる官民の組織体制 ③ 佐渡ブランド確立による1次・2次・3次産業の高付加価値化 ④ 3冠から4冠へ、「森は海の恋人」を体現する生物圏保存地域（ユネスコエコパーク）への挑戦</p> <p>(2) 廃校舎・廃ホテル・廃旅館・空き家利活用の推進について</p> <p>① 耐震化済の旧両尾小学校及び旧川茂小学校、向こう10年で発生する少なくとも10校の廃校舎の利活用策 ② 利用可能な廃ホテル・廃旅館の利活用策及び利活用不能となった廃ホテル・廃旅館の解体撤去の道筋 ③ 旅館業法による宿泊に加えた民泊新法による民泊・宿坊の推進</p>	室 岡 啓 史

順	質問事項	質問者
3	<p>④ 佐渡自動車学校の通学及び合宿免許制度による滞在型文化観光の推進</p> <p>(3) 拉致問題の早期解決について</p> <p>① 市民一人一人ができること</p> <p>② 「曾我さん母娘（おやこ）を救う会」への参画促進</p>	室岡 啓史
4	<p>1 観光でのリピーターや長期滞在につなげるために2022年から国の補助金を活用した島内ホテル施設や飲食店について問う</p> <p>(1) 世界遺産登録によるテレビ・マスコミの反応を問う</p> <p>(2) 世界遺産登録により観光客の増加による飲食店不足の対策について問う</p> <p>2 総務省が7月の全国消費者物価指数で、米類が20年ぶりに17.2%、電気代が43年ぶりに22.3%上昇したことを発表すると、米不足でスーパーに米がない。市民の家計を圧迫するため、冬を目安に市の対応策はあるか</p> <p>3 新型コロナウイルス感染症による後遺症で悩んでいる方への窓口業務開設に健康アドバイスをマニュアル化することについて問う</p> <p>4 佐渡市の区長・代表による回覧板と自主防災会の住民向けのライン登録について問う</p> <p>5 田んぼの生物多様性から学び、郷土愛を育てるための取組について問う</p> <p>(1) 小学校での総合学習について問う</p> <p>(2) 地産地消・風土の中で長く磨き上げられた食文化の生かし方について問う</p> <p>(3) 棚田サミットと観光客について問う</p> <p>(4) 田んぼアートと自然界のトキ観察について問う</p> <p>(5) 能登半島で本州初トキ放鳥「復興のシンボル」に期待し、生息密度のすみ分けについて問う</p> <p>6 さど島銀河芸術祭について、佐渡市における芸術祭の影響力と可能性について問う</p>	佐々木ひとみ
5	<p>1 佐渡市の入浴施設について</p> <p>(1) 令和6年度「佐渡市入浴施設あり方検討会」による提言について</p> <p>① 令和4年2月14日付「佐渡市の入浴施設のあり方に関する報告」に基づき、4施設について指定管理、施設譲渡により運営されてきたが、課題は何か</p> <p>② あり方検討会での検討項目として、民間施設を含めた適正な施設数及び配置について検討され、報告書では「畠野温泉松泉閣」を市の存続施設とした理由について問う</p> <p>③ 「ビューサわた」、「クアテルメ佐渡」について、民間譲渡の方針としているが、引受先がない場合、報告書にある「単に廃止するのではなく、利用者の不利益にならないように、可能な限り市民が温泉を継続利用できるような配慮をすることが望ましい」とは、どのような配慮か。具体的にはどのような対策を講じるのか</p> <p>④ 報告書では「ビューサわた」に隣接する施設の補助金の関係で、施設廃止に伴う補助金返還の懸念が記載されている。施設受託者がなく廃止となつた場合、補助金返還額は幾らか</p> <p>(2) 「相川健康増進センターワイドブルーあいかわ」について</p> <p>平成29年9月1日付「相川健康増進センターワイドブルーあいかわ施設譲渡に係る契約」並びに「同土地売買に係る契約」に基づき民間企業に譲渡された同施設について、佐渡市との契約に基づかず稼働しておらず、現在契約不履行の状態だが、佐渡市としての対応はどのように考えている</p>	佐藤 定

順	質問事項	質問者
5	<p>のか</p> <p>① 佐渡市から令和2年10月6日付で「営業再開に係る要請について」、譲渡先からの回答について、佐渡市の現在までの対応について問う</p> <p>② 同施設の立地は相川地区では良好な位置にあるが、このまま放置するのか</p> <p>2 地域の防災は自助・共助から</p> <p>令和6年1月に発生した能登半島地震では、消防団や自主防災組織が活躍し、改めて自主防災組織の存在や課題が明らかとなった。「令和6年能登半島地震に関する報告書」により、今後の自助・共助・公助の取組について問う</p> <p>(1) 能登半島地震の課題と対策についての進捗状況と見通し</p> <p>① 地区防災計画の進捗状況と課題は何か</p> <p>② 避難行動要支援者への避難支援について</p> <p>③ 正確な情報伝達の仕組みづくりについて</p> <p>④ 仮設トイレ、携帯トイレの整備について</p> <p>(2) 防災や災害時に頼りとなる消防団について</p> <p>① 令和5年4月1日現在、団員の定員1,900人のところ、実員1,678人と定員割れだが、災害時に支障はないか</p> <p>② 不足する消防団員の確保や多様な災害に対応する「機能別団員」制度導入により、団員の確保など効果を上げている自治体があるが、佐渡市では検討しているか</p> <p>③ 地域社会の繋がりの希薄化、団員としての理解不足などにより、活動に支障を来しているとの指摘がある。地区防災計画づくりへの主体的な参画や、「消防団協力事業所制度」の事業所に消防団活動への理解と協力について、取組を強化してはどうか</p> <p>(3) 佐渡市消防職員の資格取得について</p> <p>大型自動車はじめ消防職員として必要な資格等の取得に係る費用について、職員へ負担となっていないか</p> <p>3 農業委員、農地最適化推進委員の女性登用促進について</p> <p>平成28年4月に改正農業委員会法が施行され、「委員の年齢、性別等に著しい偏りが生じないように配慮しなければならない」と明記され、「第5次男女共同参画基本計画」において「地域をリードできる女性農林水産業者を育成し、農業委員に占める女性の割合の向上や女性登用ゼロからの脱却に向けた取組などを一層推進する」とし、令和7年度までに30%を達成することが求められている。目標達成と取組について問う</p> <p>(1) 佐渡市の目標と取組状況と課題は何か</p> <p>(2) 農業委員の役割と女性登用への効果をどのように捉えているか</p> <p>4 佐渡医療圏における持続可能な医療提供体制について</p> <p>(1) 新潟県厚生連の経営危機公表に関し、佐渡市の対応と今後の見通しについて問う</p> <p>(2) 佐渡総合病院の経営の現状と課題は何か</p>	佐藤 定
6	<p>1 脱炭素化とそれに付随する対応について</p> <p>(1) グリーンカーテンの効果の検証について</p> <p>(2) 公用車のEV化の進捗状況について</p> <p>(3) 太陽光発電ポテンシャルマップにおけるCO₂削減量の妥当性について</p> <p>(4) 劣化した太陽光パネルの廃棄方法等について</p> <p>(5) ブルーカーボンに対する佐渡市の見識について</p> <p>(6) 林業の活性化とエネルギーの地産地消に対する課題について</p>	村川 拓人

順	質問事項	質問者
6	<p>(7) エネルギーと環境に対するトレーサビリティの不完全性と今後の佐渡市のエネルギー・環境に対する方針について</p> <p>2 パートナーシップ制度の検討状況やLGBTQの理解促進について</p> <p>(1) これまでの佐渡市としてのパートナーシップ制度の検討状況について</p> <p>(2) 新潟県が開始したパートナーシップ制度とのすみ分けについて</p> <p>(3) LGBTQの理解促進における取組実績や今後の課題について</p> <p>3 市民サービス向上について</p> <p>(1) 窓口応対について</p> <p>(2) 各種申請における郵送化・ウェブ化の取組状況について</p> <p>(3) 職員の研修の具体的な内容や定期的な教育情報の発信等の実績と今後の課題について</p>	村川拓人
7	<p>1 消防職員について</p> <p>(1) 消防職員の資格の保持・取得状況</p> <p>(2) 資格取得に関する現状と課題</p> <p>(3) 資格取得に関する補助等ができるか</p> <p>2 宅配荷物について</p> <p>(1) 宅配荷物の再配達の現状と課題</p> <p>(2) 宅配ボックス購入の補助ができるか</p> <p>3 ペットの環境対策について</p> <p>(1) 佐渡市のペット数について</p> <p>(2) ペットと一緒に避難できる場所の整備について</p> <p>(3) ドッグランの整備について</p> <p>4 部活動の地域移行について</p> <p>(1) スキップ型の現状と課題について</p> <p>(2) SEAとの連携について</p>	平田和太龍
8	<p>1 農業政策について</p> <p>(1) 儲かる農業を確立するため、生産量が増えても値崩れしない（ブランド力が高く需要の多い）作物の生産振興について</p> <p>① 佐渡市のふるさと納税で人気のある返礼品は何か</p> <p>② 人気のある品目については、佐渡市としてさらに生産振興を図る考えがあるか</p> <p>③ ふるさと納税返礼品のメニューにない品目で、佐渡市として今後、力を入れて生産量を増やしたいものは何か（ふるさと納税返礼品対象とし、市の収入のため、または農家の農業経営収支の向上のため、特に生産量・供給量を増やしたいもの）</p> <p>(2) 畜産振興について</p> <p>① 酪農部門では、観光客向けのお土産やソフトクリーム、バター、チーズ等、乳製品の需要が今後増えることが予想されるが、生産量の確保や農家数減少に歯止めをかけるための課題と改善策について</p> <p>② 地域おこし協力隊によるヘルパー（酪農・肉用牛）や牧場管理人など、畜産関連の人材育成について</p> <p>2 風通しのよい職場の創出について</p> <p>(1) 安心して働ける職場の構築について</p> <p>① 過去3年間における長期療養休暇の取得者数について（新型コロナやインフルエンザ、怪我を除く）</p> <p>② 過去3年間における定年退職者数と早期退職者数について</p> <p>③ メンタル不調を原因とした療養休暇取得者を減らす取組について</p>	坂下真斗

順	質問事項	質問者
8	<p>④ 療養休暇取得者の職場復帰へ向けたサポート体制について</p> <p>(2) 働きやすいチームの育成について</p> <p>① 職員のマネジメント力やコーチングスキル、コミュニケーション力の向上に関する研修制度と参加率について</p> <p>② 今年度実施した人事評価に関する研修と参加率について</p> <p>③ 全職員を対象とした、パワハラ等の調査を含む組織課題のアンケート調査の実施について</p>	坂下真斗
9	<p>1 次年度の組織改編案について</p> <p>(1) 教育委員会所管事務を首長部局に移管する目的、条例等の提案までのスケジュールについて</p> <p>(2) 「文化芸術の振興」、「文化財の保存・活用」、「スポーツ振興」の教育委員会から首長部局へ移行させる具体的な事務範囲について</p> <p>(3) 「観光文化スポーツ部（仮称）」へ教育委員会職員等の移行について</p> <p>(4) 今後の本来の所管の教育委員会との連携について</p> <p>2 離島振興補助の雇用機会拡充事業不適正受給報道について</p> <p>(1) 不適正受給事案の報道について、どのように捉えているか</p> <p>(2) 監査指摘について、執行部は国の事業要件に照らし問題ないとしたが、形式上、住民票異動等の住所要件を満たせば、問題ないのか。また監査指摘の令和2～4年度まで175事業者、補助事業総額は13.7億円だが、このうち類似するものは、どの程度あるのか</p> <p>3 地域医療・介護について</p> <p>(1) 厚生連病院の突然の35億9,700万円赤字による佐渡の地域医療への影響について</p> <p>(2) 厚生連の県・市への支援要請額は明らかになっているのか</p> <p>(3) 介護報酬の引下げや物価高騰等の各事業者への影響</p> <p>(4) 物価高騰等の家庭介護への影響</p> <p>4 世界遺産登録に伴う問題</p> <p>(1) 世界遺産等の今後の地域経済に与える影響及び維持管理費用</p> <p>(2) 佐渡の文化・歴史をどう守るのか</p> <p>5 指定管理における物価高騰等の影響について 令和5年2月時の総務文教常任委員会の所管事務調査で、指定管理料における人件費の取扱いについて「施設運営に係る人件費については、市が直営した場合を基本として算定していくよう考えていきたい」としたが、今年度の最低賃金の引上げは、当然影響するのではないか</p> <p>6 佐渡航路について 冬場のカーフェリー2隻体制について</p> <p>7 原発再稼働に関わる県民投票について 原発事故時の避難に対する大きな課題が浮かび上がっている中、国等が再稼働に前のめりなことから、再稼働の是非を問う県民投票の直接請求を求める声が上がっているが、市長の見解は</p>	中川直美
10	<p>1 表玄関にふさわしい地域経済と結んで貢献する施設に「道の駅」は、あいぽーと佐渡に移転して4年経過した</p> <p>(1) 「道の駅」の機能を果たしているのか</p> <p>(2) 「道の駅」の基本コンセプト「地域とともにつくる個性豊かなにぎわいの場」となっているのか</p> <p>2 安心して住めるまちづくり 「令和6年能登半島地震に関する報告書」がまとめられ、対策も整理された。</p>	栗山嘉男

順	質問事項	質問者
10	<p>特に以下の実施を求める</p> <p>(1) 地区防災計画作成の推進</p> <p>(2) 津波の場合、まず高台避難だが、両津夷・両津湊地区に高台までの距離が遠い場所がある。津波避難タワーの設置や民間施設の避難場所協力について</p> <p>(3) 自動車避難時の交通渋滞対策</p> <p>3 猛暑から市民の命を守る 熱中症による救急搬送や死亡者が昨年を上回るペースで増えている 高齢者等の熱中症事故を防ぐため、エアコン未設置もしくはエアコンが故障している世帯への購入及び修理の費用補助をすべき</p>	栗山嘉男
11	<p>1 世界遺産登録「金の道」リレー祝賀事業について問う 市長の参加時間、提灯行列等の誘導、来賓の選び方等について問う</p> <p>2 6月～8月の公共交通、二次交通、ライドシェアはスムーズに運行したか</p> <p>3 大平高原にある建物の取扱いについて問う</p> <p>4 災害時の備蓄倉庫に障害者・高齢者用備蓄品を確保できないか。また、ブルーシートの品質を問う</p> <p>5 公衆トイレの6月～8月の使用状況を問う さど観光ナビに公衆トイレの印は増えたか</p> <p>6 残業時間の空調管理を問う</p> <p>7 令和6年8月29日付で懲戒処分になった職員にどのような指導をしたか</p> <p>8 高校生、大学生の主催イベントに支援金を出せないか</p> <p>9 白雲台の外壁修繕は必要ないか</p> <p>10 真野行政サービスセンターの利用計画、温水プール修繕状況について</p>	山本健二
12	<p>1 通信販売の普及から宅配ボックスの普及が望まれる</p> <p>(1) 近年インターネットの普及で通信販売が多く利用されるようになって便利な反面、物流には大きな負担がかかるようになってきている。このことは佐渡島内も例外ではなく、配達従事者は大変ご苦労をされているが、承知しているか</p> <p>(2) 佐渡中の1日の配達物量の1割余りの配達物が受取人不在のため2度、3度の再配達をする結果となっている。これはSDGsの観点から見ると、一度で配達完了することが望まれるが、何か対策は考えているか</p> <p>(3) 佐渡市主導で一人暮らしのアパート世帯や公営住宅等の日中不在宅への宅配ボックスの普及を図ることで再配達を少なくすることはできないか</p> <p>2 医療と介護の連携を問う</p> <p>(1) 医療施設の閉院や医師不足のため医療機関の病床数が不足となっている。また介護施設も閉鎖が続いている現状の中、医療と介護の連携でどのようにして病床を確保していくのか</p> <p>(2) 立て続けにある介護施設の閉鎖は何が原因と考えているか</p> <p>(3) 訪問介護の介護報酬が引き下げられることによる問題は生じていないか</p> <p>(4) 訪問介護は在宅介護を希望する世帯のためにも必要なサービスだが、介護報酬の引下げに伴い、サービス低下となり在宅介護を断念し、施設介護希望者が増えることにはならないか</p> <p>(5) 地域包括支援センターの役割は重要だが、機能は果たせているのか</p>	中川健二
13	<p>◎ 誰もがその人らしく生きられる佐渡を子どもたちに喜んで渡すために質問をする</p> <p>1 地区防災計画と個別避難計画の作成について</p> <p>(1) 各地区の作成の進捗状況はどうか</p>	荒井眞理

順	質問事項	質問者
13	<p>(2) 作成に至っていない理由は何か、その改善策の取組はどうか。いつを目標に作成するのか</p> <p>(3) 各集落や自治会などの防災計画作成意欲を高めるため、佐渡市地域防災マップを活用した学習会を開催してはどうか</p> <p>2 佐渡金山の世界遺産登録を受けて</p> <p>(1) ユネスコ世界遺産委員会での登録決定後、追悼式を毎年行うと日本政府は約束したと聞くが、どのように実行されるのか</p> <p>(2) イコモスの勧告により外された資産について、どのように保護・保全されるのか</p> <p>(3) イコモスの勧告にある、全体の歴史を語っていく取組として、朝鮮人労働者の実態や現場を案内できるようにしているが、今後どのように整備していくのか</p> <p>(4) 市民は、伝統的手工業など、説明できないことがたくさんある。市民も理解し、また、説明できるような機会を設けてほしいがどうか</p> <p>3 相川の博物館事業について</p> <p>世界遺産登録に合わせて相川郷土博物館の展示室が変わった。今後の整備、説明員配置などについて、どのように考えているのか</p> <p>4 佐渡島内の戦略的、効果的な特別税導入について</p> <p>(1) 税を徴収する目的をどのように考え、計画しているか</p> <p>(2) 来島者による環境への影響をどう捉えているか。環境を守るために要する佐渡市の経済的負担の試算はどのようにされているか</p> <p>(3) 来島者目線で納得のいく戦略を立てているか</p> <p>5 世界ジオパーク推進への取組について</p> <p>(1) 佐渡金山の世界遺産登録を達成した次は、世界ジオパークを目指した取組と考え、佐渡市も次の計画を立てるべきと考えるが、どうか</p> <p>(2) 来年度以降の組織改編の中で佐渡ジオパークについて、更なる推進をどのように考えているか</p> <p>6 新型コロナの新たな自己増殖型レプリコンワクチンの接種について</p> <p>(1) 従来型のmRNAワクチンとは違う自己増殖型レプリコンワクチンとは、どのようなメカニズムのワクチンか</p> <p>(2) レプリコンワクチンは危険だと専門家から警鐘が鳴らされているが、その内容をどう理解し、どう評価しているか</p> <p>(3) 従来型のワクチン接種により副作用が疑われる症状や死亡につながったと疑われる人が申請する予防接種健康被害救済制度は、佐渡市でも周知しているか</p> <p>(4) 予防接種健康被害救済制度の申請件数は何件あったか</p> <p>(5) 100人に1人が何らかの副反応を示していると言われているが、佐渡市内の状況をどう捉えているか</p> <p>(6) レプリコンワクチンの接種については、そのメカニズムの危険性を分かりやすく市民に知らせるべきである。佐渡市としてどのように説明するか</p> <p>7マイナンバーカードに健康保険証の紐づけし、健康保険証をいずれ廃止することについて</p> <p>(1) 医療機関などで健康保険証を使うことは、これからどうなるのか</p> <p>(2) いわゆるマイナ保険証に切り替えることは、何がメリットで何がデメリットか</p> <p>(3) マイナ保険証の利用率は佐渡市内で進んでいるか</p> <p>(4) 佐渡市内の利用者のうち、お年寄りにとってマイナ保険証は実用的か。</p>	荒井眞理

順	質問事項	質問者
13	<p>何が問題になっているか</p> <p>(5) 健康保険証から資格確認書になるということは、本人にとって何が変わることになるのか</p>	荒井眞理
14	<p>1 世界文化遺産登録後の佐渡市のおもてなし体制について</p> <p>(1) 現状をどう分析しているか</p> <p>(2) おもてなしリーダー研修会の効果は</p> <p>(3) おもてなしをするためにトイレ掃除の強化について</p> <p>2 真の一島一市に向けた今後の取組について</p> <p>(1) 合併から20年が経過し、佐渡市としてのまとまりについての現状認識を問う</p> <p>(2) 世界文化遺産は相川地区を中心とした、各地区の取組が大きいと考えるが、他の地区からの声はどのように市政に届いているか</p> <p>(3) 今後の佐渡を担う若者が佐渡を見つめ直す機会が必要ではないか</p> <p>3 移動販売の状況及び今後の買物難民対策について</p> <p>(1) 現場に行ってみると、車で来られている方もいるが、その方が車に乗れなくなった先のことはどう展望を描いているのか</p> <p>(2) 利用率と収益は持続可能なサービスになっているのか</p> <p>(3) 現在市では、移動販売以外の買物難民対策をどう考えているのか</p> <p>4 介護等により、集落・自治会役員を行うことが困難な場合の補助制度について</p> <p>(1) 老老介護の時代で、両親の介護をしながら集落等の役員を務めるのが難しい方について、現在の佐渡市の支援体制について問う</p> <p>(2) 今後の負担軽減策について</p> <p>(3) 補助制度の創設について</p>	川原茂